

# 資料編 1 単元の評価規準及び指導と評価の計画

## 単元の評価規準

【単元の評価規準を導き出すために参考とした内容のまとめごとの評価規準】

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な思考・判断	観察・資料活用の 技能・表現	社会的事象についての 知識・理解
地域の人々の生活にとって必要な飲料水、電気、ガスの確保や廃棄物の処理の様子に関心をもち、それを調べることを通して、地域社会の一員としての自覚をもとうとする。	地域の人々の生活にとって必要な飲料水、電気、ガスの確保や廃棄物の処理の様子から、学習の問題を見いだして追究・解決し、地域の人々の健康を守るための諸活動の特色やそれと地域の人々の健康な生活の維持と向上との関連について考え、適切に判断する。	地域の人々にとって必要な飲料水、電気、ガスの確保や廃棄物の処理の様子を的確に見学したり、調査したりするとともに、調べた過程や結果を工夫して表現する。	飲料水、電気、ガスの確保や廃棄物の処理にかかわる対策や事業は地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っていることを理解している。

【単元の評価規準及び学習活動における具体的評価規準】

	ア 社会的事象への 関心・意欲・態度	イ 社会的な思考・判断	ウ 観察・資料活用の 技能・表現	エ 社会的事象について の知識・理解
単元 の 評 価 規 準	地域の人々の生活にとって必要な水道水の確保の様子に関心をもち、それを調べることを通して、地域社会の一員としての自覚をもとうとする。	地域の人々の生活にとって必要な水道水の確保の様子から、学習の問題を見いだして追究・解決し、地域の人々の健康を守るための諸活動の特色やそれと地域の人々の健康な生活の維持と向上との関連について考え、適切に判断する。	地域の人々にとって必要な水道水の確保の様子を的確に見学したり、調査したりするとともに、調べた過程や結果を工夫して表現する。	水道水の確保にかかわる対策や事業は地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っていることを理解している。
学 習 活 動 具 に 体 お の け 評 価 規 準	水道水の確保にかかわる対策や事業に関心をもち、意欲的に調べ、考えながら追究している。  地域の人々の健康な生活の維持と向上のために地域の人々が工夫や努力、協力をしていることの理解に基づいて、自分も地域社会の一員として、進んで協力しようとする気持ちをもとうとしている。	水道水の確保にかかわる対策や事業について問題意識をもち、学習の見通しをもって自分なりに追究している。 調べたことをもとに、水道水の確保にかかわる対策や事業は地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っていることを考え、適切に判断し、学習の問題を解決している。	水道水の確保と自分たちの生活や産業とのかかわりを見学したり、調査したりして具体的に調べている。 水道水の確保にかかわる対策や事業が計画的、協力的に進められている様子を見学したり、調査したりして具体的に調べている。 見学、調査した過程や結果を分かりやすく表現している。	水道水と自分たちの生活や産業とのかかわりが分かっている。  水道水の確保にかかわる対策や事業は、計画的、協力的に進められていることが分かっている。

【社会的事象への関心・意欲・態度】

学習活動における 具体的評価規準	「十分満足できる」状況（A）を実現している と判断した児童の具体的な状況例	「努力を要する」状況（C）と 判断した児童への指導の手だて
アの 水道水の確保にかかわる対策や事業に関心をもち、意欲的に調べ考えながら追究している。	ノートの記事や発言の内容の分析、行動観察などから家や学校、市全体の水道水の量に対する驚きや、それらがどのように送られてくるのかという問題意識をもち、配水場を意欲的に見学、調査し、問題の解決につながる水道水の送水の工夫を見つけたそうとしていると判断できた。	・水道水の使用量が多い事実に対して関心の低い児童については、自分の家の水の使用量を調べ直し、自分の生活とのかかわりから、もう一度水道水の確保について問題意識をもてるように、個別に指導・支援する。 ・見学や調査の過程で、問題意識や追究意欲が持続できない児童に対しては、その原因を探り、個別に指導・支援する。
アの 地域の人々の健康な生活の維持と向上のために地域の人々が工夫や努力、協力をしていることの理解に基づいて、自分も地域社会の一員として、進んで協力しようとする気持ちをもとうとしている。	発言やノートの記事の内容の分析から、例えば、「自分たちが毎日使っている水道水を確保するには、様々な人々の努力があることが分かった。今まで水をむだ使いすることが多かったと思う。これからは、みんなで使う水を大切にしようと思う。そのため自分たちにも協力できることを見つけていかなければならない。」など、地域社会で生活している一人として、責任ある生き方をしようとする努力することが大切であることに気づき、学んだことを自分の生活に積極的に生かし、進んで協力しようとする気持ちをもとうとしていると判断できた。	・水道水を確保することを、自分の生活と結びつけて考えようとし、あるいは、考えられない児童については、参考となる学級内の他の児童の考え方を取り上げ、「なぜ、その子がそのように考えたのか、自分にも参考となる考え方はないか」などの具体的な問いを投げかけて、教師とともに考えるなど、個別に指導・支援する。

【社会的な思考・判断】

学習活動における 具体的評価規準		「十分満足できる」状況（A）を実現していると 判断した児童の具体的な状況例	「努力を要する」状況（C）と 判断した児童への指導の手だて
イの	水道水の確保にかかわる対策や事業について問題意識をもち、学習の見通しをもって自分なりに追究している。	発言やノートの記述の内容の分析から、例えば「人口の増加に伴い水道水の使用量も増えてきている。その水を確保するために、排水場では様々な工夫をしているのではないか」など、自分なりの考えや予想をもち、自分の追究のめあてや解決の見通しをもって調べ、考えが次第に深まっていると判断できた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>何を調べればよいか、どのようにして調べるかなど学習の見通しがもてない児童に対しては、「分からないことは何か、知りたいことは何か。そのためには何を調べればよいか」など具体的に投げかけ、学習の見通しがもてるまで、丹念に個別指導を繰り返す。</li> <li>追究の方向を見失ってしまった児童に対しては、学級全体で立てた学習の問題や自分の追究のめあてを確認させるなど、個別に指導・支援する。</li> </ul>
イの	調べたことをもとに、水道水の確保にかかわる対策や事業は地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っていることを考え適切に判断し、学習の問題を解決している。	発言の内容やノートの記述の内容の分析を通して、地域の人々は、毎日の快適な生活や産業を営むために、毎日多くの水を使っている。人口の増加に伴い水の確保も困難になってくると心配される。増え続ける水の需要に対して、新しく利根川から水を取り入れたり、排水場では送水量を調節したりしている。 という二つの事実を関連づけて考え、「水道水は自分の家までどのようにしてくるのだろうか」という、学習問題をよりよく解決していると判断できた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>どう考えたらよいか分からずに困っている児童に対しては、例えば「学習の問題について最初はどのように考えていたのか」「実際に調べてみて、最初の考えが変わったり、よりはっきりしたことはないか」など具体的に問いかけるなどして、調べたことに基づいて児童が考える方向や糸口が見いだせるように具体的に指導・支援する。</li> </ul>

【観察・資料活用の技能・表現】

学習活動における 具体的評価規準		「十分満足できる」状況（A）を実現していると 判断した児童の具体的な状況例	「努力を要する」状況（C）と 判断した児童への指導の手だて
ウの	水道水の確保と自分たちの生活や産業とのかかわりを見学したり、調査したりして具体的に調べている。	子供の行動観察やノートの内容の分析などを通して水道水の使用量の調査結果や市全体の水道水の使用量の増え方のグラフから、水道水を多く使っている事実を生活の仕方と結びつけて具体的に読みとっている。 水の取水源はどこか、そこからどこに送られているかなどに着目し、自分の家までどのように送られているかを具体的に観察し、記録している。 排水場の大きさや、中での施設の種類、衛生や水の量の調節の仕方などに着目し、そこに従事している人々の努力や工夫を調査し、記録している。 など、水道水の確保の様子を自分の問題の解決と結びつけながら適切に調査し、記録していると判断できた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>統計資料が十分に読みとれない児童に対しては、その読み方の基本的な手順や方法などについて、具体的に指導する。</li> <li>見学や聞き取り調査において、施設の働きやそこに従事している人々の工夫、努力などを具体的に調べられなかった児童に対しては、写真やビデオをもう一度見せるなど、補助的な資料を活用する。</li> <li>見学や調査の方法についても個別に指導する。</li> </ul>
ウの	水道水の確保にかかわる対策や事業が計画的、協力的に進められている様子を見学したり、調査したりして具体的に調べている。	作品の分析を通して、例えば「わたしたちの水はどこから」「水不足にならないために」などの小見出しをつけたり、イラストや写真を活用したりして学習の問題の解決に結びつく内容を中心に、分かりやすく表現している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>まとめの活動に取り組めない児童については、調べて分かったことのどこを中心にまとめるのか、それをどのように表現するのかなど、その児童の学習の足跡や得意な表現の仕方などを大切に、その児童のよさが生かすように支援する。</li> </ul>

【社会的事象についての知識・理解】

学習活動における 具体的評価規準		「十分満足できる」状況（A）を実現していると 判断した児童の具体的な状況例	「努力を要する」状況（C）と 判断した児童への指導の手だて
エの	水道水と自分たちの生活や産業とのかかわりが分かっている。	発言やノート、ワークシートの内容の分析を通して、地域の人々は生活や産業を通して大量の水を使用している。 森林は、自然のダム役割をしている。 配水場では、水を衛生的に管理したり、送水量を調節したりしている。 境町では地下水だけでなく利根川から新しく水を取り入れ、配水場を通して、自分たちの生活に送られている。 これらの事業や対策によって、人々の健康な生活が支えられている。 水を無駄使いたないためには、地域住民一人一人の協力が大切である。 という事実のいくつかに着目し、水道水と自分たちの生活や産業とのかかわりや水道水の確保にかかわる事業や対策が計画的・協力的に進められていることが具体的に分かっていると判断できた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習の問題を解決していくために欠かすことのできない事柄を理解していない児童には、その原因を探り、例えば次のような具体的な手だてを講じて個別に指導・支援する。 教科書や副読本に掲載されている写真や図などの資料と児童が実際に調べたことを結びつけながら見学・調査したことを想起させるなど、繰り返して学習させる。 見学・調査した場所の写真などを活用して、児童がどこまで理解しているかを教師が確認し、必要に応じて補説する。</li> </ul>
エの	水道水の確保にかかわる対策や事業は、計画的、協力的に進められていることが分かっている。		

指導と評価の計画（全 14 時間予定）

過程	時間	主な学習活動・内容	形態	具体的 評価規準	評価項目（評価方法）
つ か む	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>水遊びや水に親しんだ経験を想起し発表する。</li> <li>生活経験をもとに、生活の中で水が使われている場面を絵や文に表し、発表する。</li> <li>発表をもとに水と生活との関わりについて話し合う。</li> </ul>	個人	アの	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活経験をもとに、水を使っている場面を進んで発表しようとしている。（発表）</li> <li>水はいろいろな場面でたくさん使われており、生活に欠かせないものであることに気づくことができる。（発表）</li> </ul>
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>家、学校、町の1日の水の使用量について話し合い、水の量を身近なものに置き換えて実感する。</li> <li>2つのグラフを比べ、水の使用量が増えてきた理由を考える。</li> </ul>	個人	ウの	<ul style="list-style-type: none"> <li>水の使用量を身近なものに置き換えて、実感することができる。（観察）</li> <li>2つのグラフから人口の増加と水道の使用量の変化を結びつけて考えることができる。（観察）</li> </ul>
	3	<p>【見通し1】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水道水の元になる水がどこからきているのか考える。</li> <li>水道水の元となる水と自分の生活との間にはどんなものがあるか例を挙げる。</li> <li>水道水が自分のところにどのような順でくるのかを予想し、経路図に表す。</li> </ul>	個人	アの イの	<ul style="list-style-type: none"> <li>水と自分たちの生活のつながりについて気づくことができる。（経路図）</li> </ul>
	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>水道水について調べたいことや疑問を出し合う。</li> <li>グループ分けしたものを基に課題を作る。</li> </ul>	一斉	イの	<ul style="list-style-type: none"> <li>調べたいことや疑問をたくさん出すことができる。（発表・観察）</li> </ul>
追 究 す る	5 6	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題に基づいて、配水場のビデオを見る。</li> </ul>	一斉	アの ウの	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題にそってビデオを見ることができる。（観察・ノート）</li> </ul>
	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>地下水のできる様子や森林の果たす役割を調べる。</li> <li>ダム役割について理解する。</li> </ul>	一斉	エの	<ul style="list-style-type: none"> <li>地下水が旅する様子について分かる。（観察）</li> <li>ダムの役割について理解できる。（観察）</li> </ul>
	8	<p>【見通し2】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>採女地区では水道水の元は何だったのか確認する。</li> <li>調べてまとめたものを中心に、水道水がどのよなルートをたどって自分の生活に供給されるのか正確な経路を、経路図に表す。</li> <li>自分の予想と比べてどうだったかを考える。</li> </ul>	個人	イの エの	<ul style="list-style-type: none"> <li>水道水の正しい送水ルートが分かる。（経路図）</li> <li>事業に携わる人々の努力や工夫が分かる。（経路図）</li> </ul>
深 め る	9 10	<ul style="list-style-type: none"> <li>配水場のビデオを見たり調べたりしたことを基に水道水について分かったことを絵、文、グラフなどに表す。</li> </ul>	個人	ウの	<ul style="list-style-type: none"> <li>分かったことを絵、文、グラフに表すことができる。（作品）</li> </ul>
	11 12	<ul style="list-style-type: none"> <li>まとめたものを発表し合う。</li> </ul>	一斉	ウの	<ul style="list-style-type: none"> <li>分かりやすく発表したり、注意深く聞いたりしている。（観察）</li> </ul>
	13	<p>【見通し3】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>友達の発表を聞いて新しく分かったことや、水道水確保のために自分にできることを考え、経路図にまとめる。</li> </ul>	個人	イの	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分にできることを考えることができる。（経路図）</li> </ul>
	14	<ul style="list-style-type: none"> <li>経路図にまとめたことを基に、今後自分たちがどうしていったらよいか話し合う。</li> </ul>	一斉	アの	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分にできることを実践しようとしている。（観察）</li> </ul>

## 資料編 2 指導案とワ - クシ - ト (見通し 1)

本時の学習 (14 時間予定の第 3 時)

- 1 ねらい  
水道水がどのようなルートをたどって、自分たちの生活に供給されるのか予想でき、水と自分たちのくらしのつながりに気づくことができる。
- 2 準備...わたしたちの境町 (副読本) 新しい社会 (東京書籍)  
(教師) 掲示用カード  
(児童) ワークシート (No 3)
- 3 展開

学 習 活 動	時間	教師の支援および留意点 ( は主な支援、 は補充的支援、 は発展的支援)	評価項目
水道水の元となる水がどこからきているのか考える。 ・川の水 ・海の水 ・地下水 ・井戸水	5	1つだけでなく、いくつか出させ、その中から采女地区ではどれかを予想させる。 予想できない児童には、川、海など水の多い場所の具体的な例を挙げ、それを参考に考えるよう助言する。	
水道水の元となる水と自分の生活との間にはどのようなものがあるか例を挙げる。 ・ダム ・水を消毒する機械 ・ごみをとる機械 ・配水管	10	学校や家、外での水を使っている場面を想起させ、経路図 にまとめる作業につながるようにする。 水を飲めるようにするためには、自分の予想した水の元をどうすればいいのかなど具体的な助言をする。	
水道水がどのようなルートをたどって自分たちの生活に供給されるのかを予想し、経路図 に表す。 ・ダム ・水を消毒する機械 ・ごみをとる機械 ・水を検査する機械 ・水をためておく機械 ・配水管	20	ワークシートは自由に書き込むことのできるものとする。 黒板には水道水の元 (雨、川、地下水など) となるものと自分の生活だけ掲示しておく。 予想をなかなか立てられない児童には、自分の生活から水を逆に追っていくよう助言する。 自分たちが飲めるような水にするためには、本当にこれだけでいいのか問いかける。	思・判 水と自分たちのくらしのつながりに気づくことができる。 (ワークシート ・発表)
自分の予想と、友達の予想を比べる。 ・水道水の元になるものが違う。 ・水道水の元が同じでも通ってくる場所が違う。 ・いろいろな機械がある。	10	自分の予想との違いや共通点ができるように、掲示の仕方を工夫する。 どこが違っているのか、自分のワ - クシ - トに印をつけるよう支援する。	

# くらしをささえる水

ワークシート No.3 名前( )

水道水が自分の家までどのようにしてくるのか予想してみよう

(水道水の元となるもの)

自分の家

## 資料編 3 指導案とワ - クシ - ト (見通し 2)

本時の学習 (14 時間予定の第 8 時)

### 1 ねらい

水道水が自分の生活にどのように供給されるか、正確な経路を経路図 にまとめることができる。また、事業に携わる人々の努力や工夫が分かる。

### 2 準備...わたしたちの境町 (副読本)、新しい社会 (東京書籍)

(教師) ビデオ (配水場の様子)、模造紙 (配水場の見取り図)、掲示用カ - ド  
(児童) ワークシート (No 7)

### 3 展開

学 習 活 動	時間	教師の支援および留意点 ( は主な支援、 は補充的支援、 は発展的支援)	評価項目
<p>采女地区では、水道水の元は何だったのか確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地下水</li> <li>・利根川の水</li> </ul>	5	<p>境町では、地下水と利根川の水を元に水道水を作っているが、地域によって水道水の元は様々であることをおさえる。</p> <p>忘れた場合は、ワ - クシ - トの No 5 を見て確認するよう支援する。</p>	
<p>ビデオを見たり、調べたりしたことを基に、水道水が自分の生活に配給される正しい送水ルートを経路図 に表す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地下水 ・着水井</li> <li>・塩素こんわ池</li> <li>・ろか機 ・水源井</li> <li>・配水池 ・ポンプ井</li> <li>・利根川 ・浄水場</li> <li>・配水場 ・配水管</li> <li>・点検する。</li> <li>・停電の時、自動的に動く。</li> <li>・使用量に合わせて水を送る。</li> <li>・夜も必ず 1 人いる。</li> <li>・何日か水がもつようにためておく。</li> </ul>	30	<p>なかなか作業に取りかかれない児童には、分からないところをもう 1 度ビデオを見たり、副読本を利用したりするよう助言する。</p> <p>経路図 の中に事業に携わる人々の努力や工夫についても書き込むように伝え、計画的・組るように助言する。</p>	<p>知・理</p> <p>水道水が自分の生活にどのように供給されるか、正確な経路をとることができる。また、事業に携わる人々の努力や工夫が分かる。 (ワ - クシ - ト ・発表)</p>
<p>自分の予想と比べてどうだったか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地下水を使っていた。</li> <li>・いろいろな機械があった</li> <li>・二つのル - トがあった。</li> </ul>	10	<p>予想と比べての共通点や相違点について考えをまとめられるように助言する。</p> <p>ワ - クシ - トに共通点や相違点に印をつけさせる。</p> <p>自分の予想と違ったものが、なぜ必要なのか調べたことから考えるよう促す。</p>	

くらしをささえる水 ワークシート No.7 名前 ( )

水道水が自分の家までどのようにしてくるのか、正確なルートをまとめよう

正しいルートだけでなく、配水管で働いている人の考えや工夫も書こう

(水道水の元になるもの)

↑

自分の家

## 資料編 4 指導案とワークシート（見通し3）

本時の学習（14時間予定の第13・14時）

- 1 ねらい  
友達の発表を聞いて新しく分かったことや、水道水確保のために自分にできることを考え、経路図にまとめることができる。また、実践しようとする。
- 2 準備...わたしたちの境町(副読本)、新しい社会(東京書籍)  
(教師) 掲示用カ-ド  
(児童) ワークシート(No7-見通し2で記入したものを使用)
- 3 展開

学 習 活 動	時間	教師の支援および留意点	評価項目
自分の家までの送水ルートや事業に携わる人々の工夫について確認する。 ・(見通し2と同じ)	15	送水ルートや事業に携わる人々の工夫を確認しながら、黒板に経路図を作成し、経路図につながるようにする。 ワークシートNo7を見ながら確認するよう支援する。	
友達の発表を聞いて新しく分かったことや、水道水確保のために自分にできることを考え、経路図に表す。 ・水を出しっぱなしにしない。 ・じゃ口をまめにしめる。 ・おふろの水をせんとくに使おう。 ・川の水をよごさない。	50	自分にできることはどんなことがあるのか、具体的に考えられるように助言する。 なかなか考えられない児童には水を無駄使いしないためにはどんなことがあるかなど具体的な助言をする。 自分の家でしていることはないか自分の生活を振り返りながら考えるよう支援する。	思・判 水道水確保のために自分にできることを考えることができる。 (ワークシート・発表)
自分の考えを発表し合い、実践しようとする。	25	自分にできることを考えるだけでなく、実践することが大切であることを促す。 水不足や給水制限などにも触れ、水の大切さについて深められるようにする。 発表の苦手な児童も、意図的に指名し、同じような内容であっても、自分の言葉で発表できるように言葉がけをする。 自分にできることだけでなく、これからの水の在り方についても考えられるように促す。	関・意・態 自分にできることを実践しようとしている。 (発表・観察)



くらしをささえる水 ワークシート No.7 名前( )

水道水が自分の家までどのようにしてくるのか、正確なルートをまとめよう

※正確なルートだけでなく、配水員が働いている人の努力を工夫も書こう

(水道水の元になるもの)

自分の家

# 資料編 5 その他のワ - クシ - ト

くらしをささえる水 ワークシート No.1 名前 ( )

**水は生活の中のどんな場面で使われているのだろうか**

日常生活の中で水を使っている場面を思い出し、前と文で表してみよう。(1つだけでもいい)

  
  
  
  
  
  
  
  
  
  
  

◎水と自分たちの生活の関係について思ったことを書こう。

{ }

くらしをささえる水 ワークシート No.2 名前 ( )

**家、学校、町では1日にどのくらいの水を使うのだろうか**

◎家、学校、町で1日に使う水の量はどれくらい？

	家	学校	町全体
1ヶ月の使用量 (L)			
1日の使用量 (L)			
ペットボトルにすると (200L)	本	本	本
お風呂にすると (200L)	回	回	回
学校のプールにすると (30000L)		回	回

◎6ページ「町の水の消費量のうづりかわり」と  
7ページの「町の人口の増加」のまつの  
グラフを見比べて、分かったことを書こう。

◎上の表を見て、気づいたことや思ったことを書こう。

{ }

くらしをささえる水 ワークシート No.4 名前 ( )

水道水調べる計画を立てよう

自分たちの使っている水について疑問に思ふことや知りたいこと調べることを決してみよう

↓

自分の課題 (調べるゆゑ)

↓

クラス全体の課題 (調べるゆゑ)

くらしをささえる水 ワークシート No.5 名前 ( )

ビデオを見て分かったことをまとめよう

くらしをささえる水 ワークシート No.6 名前( )

地下水やダムについて調べよう

①地下水のでもらったり森林のばたしを国を  
使ったよ

②ダムの役割を国を使ったよ